

附属図書館サテライトの現状と要望について

学術情報部学術情報課情報サービスグループ 齋藤 香織

jm3162@cc.hirosaki-u.ac.jp

1. 附属図書館サテライトの現状

附属図書館2階のマルチメディアコーナーには、現在30台の学生用端末と1台のモノクロレーザプリンタが設置されています。このコーナーは大変よく利用されており、満席になることもしばしばです。授業期間中は、平日は午前9時から午後9時50分まで、土日は午前10時から午後4時50分まで利用することができます。文京町地区の中では最も開放時間が長いサテライトといえます。

また、3階には無線LANコーナーがあり、自分で持ち込んだノートパソコンを使用することができます。こちらについても、毎日数人から十数人が利用しているようです。



附属図書館2階マルチメディアコーナー



附属図書館3階無線LANコーナー

2. 利用者への要望

館内は飲食不可であるにもかかわらず、飲食をしている人がしばしば見られます。マルチメディアコーナーや無線LANのコーナーも然りです。飲食は図書や施設の汚損、機械の故障等の危険があるため禁止しているものです。館内の設備や備品は全て公共物であるということを認識し、常識ある行動をしていただきたいと思います。

それから、マルチメディアコーナーで印刷しようとして正常に印刷できなかった場合、そのままにして去ってしまう人がいますが、これも大変困ります。現行のシステムでは、印刷できない命令が一つでもあると、それ以降に出された他の全ての印刷が処理できない状態になってしまいます。印刷命令を削除することができるのは、命令を出した当人と、総合情報処理センターの担当者のみです。夜

間や土日はセンターの担当者が不在のため、当人が削除しない限り、状況が改善されることはありません。印刷ができない場合は放置せず、自分で命令を削除するか、カウンターまでお申し出ください。

皆さんが気持ちよく利用できるよう、ご協力をお願いいたします。

3. 総合情報処理センターへの要望

各学部との連携・調整を行うこと、学生に対する広報にもっと力を入れることを要望いたします。

現在、学部学生は入学時にアカウントと初期パスワードの説明が記載された紙をもらうことになっています。大学院生についてもアカウントはあらかじめ設定されているらしいのですが、入学時に説明を受けていないため、往々にして図書館で説明をすることになります。また、科目等履修生や研究生も申請すればアカウントを取得できますが、これについても、図書館で問合せを受けることがあります。学部学生以外の人については、どうしても個別に対応せざるをえない面はあるかと思いますが、効果的な広報と利用指導についてご検討いただきたいと思います。

また、印刷枚数に上限があることを知らない学生が大変多いです。学部により、きちんと掲示しているところもあれば、していないところもあるようです。印刷枚数の利用状況については、学生用パソコンのブラウザで初期画面に設定されている「弘前大学教育用 WWW システム」の画面でいつでも確認可能ですが、これについても知らない人が多いようです。

こういった利用の詳細については、入学時に配布する紙に記載するなり、総合情報処理センターのホームページにFAQとして載せておくなりすれば、学務担当者やサテライト担当者も学生に説明しやすくなり、学内全体の省力化にもつながるのではないのでしょうか。もちろん、利用する学生にとっても大いに利便性が向上すると考えます。